

活動報告（3月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 天竜農林局地域振興課

表題：有害捕獲獣のジビエ利活用研修が開催されました

日時：令和8年3月6日（金）

場所：静岡県浜松市天竜区



【 研修の様子 】



【 解体の実演 】



【 A.I.C のなめし革 】

※左がシカ、右がイノシシ

浜松市の鳥獣被害対策事業の一環として、有害捕獲鳥獣の利活用に関する研修が天竜区佐久間町の「佐久間の星の駅 奏-KANADE-」で開催されました。

講師は、奏を運営している久保敷さんご夫妻と、兵庫県たつの市のタンナー（皮革工場）の辻さんで、久保敷さんからは奏の理念である「いのちをつなぐ」「いのちをいただく」ための取組について、辻さんからは捕獲した鳥獣を肉だけでなく皮も利用することによる産業振興について話していただきました。

捕獲するだけの対策から、肉や皮も活用することで被害対策から産業振興につなげていく方向性は、これからの鳥獣被害対策について参考になる示唆に富んだお話でした。

西部農林事務所では、今後も浜松市や農協等と協力しながら、鳥獣被害対策に対する取組を進めていきます。